学校番号	218

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「世界史Ａ」（東京書籍）						
副教材等	明解世界史図説エスカリエ（帝国書院）、ワークシート						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界の歴史に関心をもって取り組む。
・世界の歴史の展開についての基本的な事柄を理解する。
・毎回の授業には教科書・図録・ノート・ファイルを持参してください。

2　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
･近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。
・諸資料を活用して課題に取り組むことで、資料活用の技能および歴史的思考力・表現力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家･社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート 授業での観察	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 授業での観察	定期考査 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	アジア諸帝国の繁栄とヨーロッパ	・中華帝国の繁栄と東アジア ・15～17 世紀の東南アジア ・16 世紀のヨーロッパ	○ ○	○ ○ 	 ○ ○	 ○ ○	a:アジア諸帝国の繁栄、ルネサンスと宗教改革などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:設定された時代の諸地域の特質を見いだし、アジア諸帝国の繁栄などに関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:アジア諸帝国の繁栄とヨーロッパの文化に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:ルネサンスと宗教改革などの動き、アジア諸帝国の繁栄について理解し、その知識を身に付けている。	・定期考査 ・ワークシート
2学期	大西洋世界の変容とその波及	・ヨーロッパとアメリカの諸革命 ・産業革命と世界市場の拡大 ・ヨーロッパの動乱の波及	○ ○ ○	 ○ 	○ 	 ○ ○	a:18 世紀の諸地域世界の様子について、社会の変化と新たな社会の成立に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:18 世紀の諸地域世界の特質を見出し、19 世紀の世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 18 世紀の諸地域世界の特質に関する諸資料を収集し、優勝名情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:18 世紀の諸地域世界の変貌についての基本的な事柄を 19 世紀の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を見に付けている。	・定期考査 ・ワークシート

3学期	二つの世界大戦の時代	・第一次世界大戦 ・世界恐慌とファシズム ・第二次世界大戦 ・戦後世界の形成	○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ 	a:二つの世界大戦に関する世界の動き、背景について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 20 世紀初頭にみられた社会の急激な変化や世界大戦の原因や影響を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 二つの世界大戦に関する諸資料から有用な情報を収集したり有効に活用したりすることができる。 D:二つの大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	・定期考査 ・ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。